



あなたがつくる 「箕面のあした」



次期箕面市総合計画策定に
向けた市民と市民会議との
意見交流会



次期箕面市総合計画

市では、
平成23年度から始まる
新しい総合計画を
策定します。

総合計画って何?!

- ◆ 長期的なまちづくりの方向性を示す最も基本となるもの
- ◆ めざすべき将来像、基本目標を設定し、その実現に向けての基本的な取り組みを示しているもの

↓ そんな総合計画を

行政だけで考えていいの?!

まちづくりの主人公は市民じゃないの?!

そこで、平成19年6月 箕面市民会議が発足!

でもでも

?

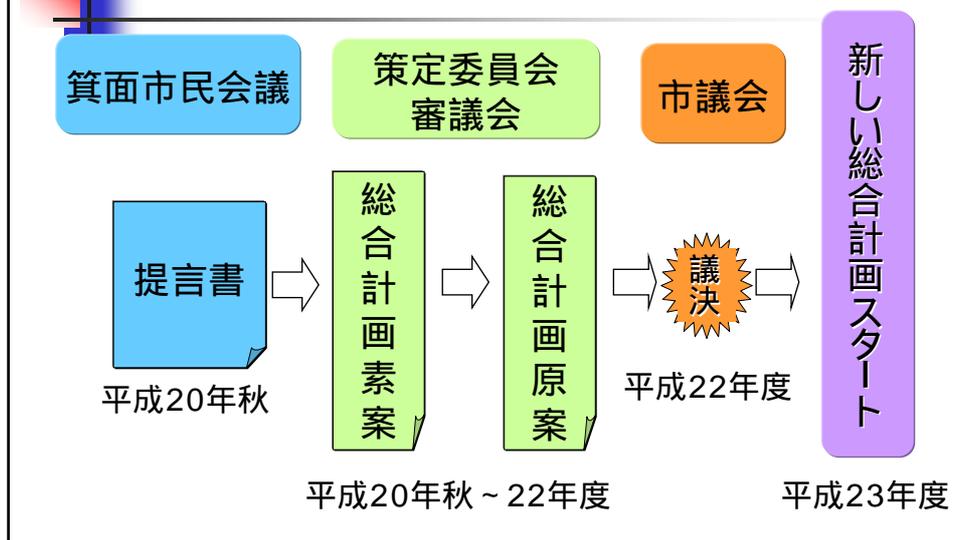
箕面市民会議って何?!

?

↓ それは

- ◆ 次期市総合計画が市民の想いで満たされた「箕面のあした」づくりになるよう、さまざまな分野について議論・研究し、市に提言することを目的に自主的な活動を行うグループ

市民会議からの提言はどうなるの?!



暮らしの変化、身近な問題

■ 人と人の関わり

子育て、医療、介護、障がいのある人の暮らし、防災、近所づきあい(自治会)、少子高齢社会、人口減少...

■ 人とまちの関わり

まちの賑わい、文化、景観、交通、安全・安心、商業、観光、農業...

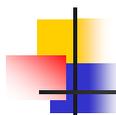
■ 人と自然の関わり

里山の保全・活用、自然環境、地球温暖化...



国や地方自治の変化

- 地方分権が進み、地方自治の責任が重くなった。
- 地方自治のあり方が、市民生活を左右する時代となりつつある。
- 財政危機のなかで、まちづくりをどう進めていくか？



どのような考え方で
提言するのか

それは…



大切にしている考え方

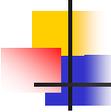
- “元気な箕面” を未来の世代へ！
- “新しい自治” を創造しよう！

住民・市民団体・事業所・行政の主体者すべてが、「自助・共助・公助」の考え方を共有し、参画と協働で進化した箕面を創りあげる。



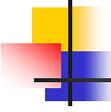
自助・共助・公助とは・・・

- 「自助」とは、自らのできることは自らが担おうという考え方
- 「共助」とは、役割分担をしながら共に助け合おうという考え方
- 「公助」とは、公(行政)を通じ、助け合おうという考え方



これからのまちづくり

- これまで: 行政主導のまちづくり
- これから:
 - 住民、地域コミュニティ、ボランティア、NPO、事業者、議会、行政がまちづくりの主体
 - “誰もが地域社会の担い手として、役割を分担し、互いに助け合う”まちづくり



次期総合計画のあり方

- これまで: 行政運営の計画
(市役所が担っていることだけが書いてある計画)
- これから: “誰もが地域社会の担い手として、役割を分担し、互いに助け合う”ためのみんなの計画
(市民がすることも含めて、みんなで実行していく計画)



あしたの箕面をつくるのは

- わたしたちの出番です。
- 市民会議ではあなたのご意見・提案・要望などをお待ちしています。
- 市民会議のメンバーに参加してください。

ありがとうございました